

# 平成17年度 和歌山県文化功労賞

う え とし かつ  
宇 江 敏 勝

住 所：和歌山県田辺市

出 身 地：三重県尾鷲市

生 年：昭和12年

## ◎業績及び経歴

昭和12年に三重県尾鷲市に生まれ、昭和32年県立熊野高等学校を卒業後、父の炭焼きを手伝い、その後植林労務で山小屋を転々と移動しながら執筆活動を続け、20歳の時から関西の同人誌「VIK-ING」に参加、エッセーを発表する。

昭和55年に「山びとの記」を出版して注目を集め、昭和60年頃から紀伊山地の参詣道を歩き、修験者として奥駆けにも参加、平成4年からは紀州語り部として熊野古道を訪れる人の案内役や講師も務めている。

果無山脈を中心とする紀南の山々、山村を舞台に体験から生まれた自然と人間のかかわり、また、自然保護、動物の生態系を描き、エッセーや小説として作品を発表、「山の作家」として山村のくらしを通して現代をきびしく追求する一方、そこに生きる哀歓を描いている。

平成8年から、10数冊に及ぶ著書の中から選んだエッセーを再構成し、改訂版を続々と出版、平成14年に「宇江敏勝の本 第一期 全6巻」が完結、現在「第二期 全6巻」を刊行中。

また、自らの足と体験で書いた「世界遺産 熊野古道」が世界遺産登録に合わせて、昨年7月に出版されている。

故郷紀州熊野を題材とした作品により、地域文化の振興に果たしてきた功績は多大である。

## ■現在

作家・林業

和歌山県観光ガイド専門員紀州語り部

## ■主な表彰歴等

昭和58年 和歌山県文化奨励賞

平成3年 第15回井植文化賞

平成10年 地域文化功労者文部大臣表彰